



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月13日

上場会社名 北海道中央バス株式会社
コード番号 9085 URL <https://www.chuo-bus.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
半期報告書提出予定日 2024年11月14日
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 札
(氏名) 二階堂 恭仁
(氏名) 安田 徹
TEL 0134-24-1111

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	15,901	3.2	433		246		390	
2024年3月期中間期	15,404	8.2	472		306		552	

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	149.11	
2024年3月期中間期	211.18	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	36,532		26,760		72.8	
2024年3月期	37,150		27,844		73.7	

(参考)自己資本 2025年3月期中間期 26,603百万円 2024年3月期 27,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期				40.00	40.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2025年3月期の配当予想については、未定としております。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,650	5.4	700	40.1	850	41.9	450	52.2	171.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 中央バスビジネスサービス(株)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	3,146,000 株	2024年3月期	3,146,000 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	529,674 株	2024年3月期	529,581 株
期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	2,616,383 株	2024年3月期中間期	2,616,508 株

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中、緩やかに回復しました。道内の経済においては、個人消費に一部弱めの動きがみられるものの、観光需要が増加するなど、緩やかに回復しました。一方では、原材料価格の上昇や深刻な人手不足の状況が続くなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当中間連結会計期間の業績は、売上高は15,901百万円(対前年同期比3.2%増)、433百万円の営業損失(前年同期は472百万円の営業損失)、246百万円の経常損失(前年同期は306百万円の経常損失)、390百万円の親会社株主に帰属する中間純損失(前年同期は552百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 旅客自動車運送事業

乗合運送事業は、2024年4月1日のダイヤ改正においては、人員不足などにより、札幌圏を中心に路線の廃止、減便などを実施しました。

貸切運送事業は、一般団体の受注が増加しました。

この結果、旅客自動車運送事業全体として、売上高は8,267百万円(対前年同期比1.7%減)、バス燃料費の減少などがありましたが396百万円の営業損失(前年同期は472百万円の営業損失)となりました。

② 建設業

建設業は、道内の公共投資や民間設備投資が増加する中、完成工事高が増加しました。

この結果、売上高は5,250百万円(対前年同期比7.7%増)、営業利益は126百万円(同53.9%増)となりました。

③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、新規物件を受注したことなどにより、増収となりました。

この結果、売上高は1,669百万円(対前年同期比1.8%増)、営業利益は110百万円(同2.3%増)となりました。

④ 不動産事業

不動産事業は、新規賃貸契約の獲得などにより、増収となりました。

この結果、売上高は401百万円(対前年同期比3.8%増)、減価償却費の増加などにより営業利益は122百万円(同11.3%減)となりました。

⑤ 観光関連事業

ニセコアンヌプリ国際スキー場は、春スキー客が増加しました。また、レストランの夏季営業を開始するとともに、スキー場のグレンデを活用したマウンテンバイクコースを新設しました。

小樽天狗山スキー場は、メディア露出効果に加え、クルーズ客船の小樽港への寄港回数が増加したこともあり、ロープウェイ利用客が増加しました。

ニセコ温泉郷「いこいの湯宿いろは」は、前年に実施されていた全国旅行支援事業がなくなったことが影響し、利用客が減少しました。

砂川ハイウェイオアシス館は、集客イベントの開催などにより、利用客が増加しました。

ワイン&カフェレストラン「小樽バイン」は、プロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」とのコラボメニューを提供しました。また、旅行業は、町長がガイドを務める地域と連携したツアーなどを実施し、増収に努めました。

この結果、観光関連事業全体として、売上高は786百万円(対前年同期比7.2%増)、人件費の増加や、上半期(4月~9月)はスキー場がシーズンオフであることが影響し、301百万円の営業損失(前年同期は285百万円の営業損失)となりました。

なお、当セグメントは、スキー場の営業が冬期間中心であるため、下半期の売上高が上半期に比べて高くなる季節的変動があります。

⑥ その他の事業

物品販売業は、商品の取扱いが減少しました。自動車教習所は、入校生が増加しました。介護福祉事業は、入居者が減少しました。また、2024年6月に、サービス付き高齢者向け住宅3棟目となる「マイラシーク手宮」を小樽市内に開業しました。

サービス業を営んでいた子会社を当社が2024年4月1日に吸収合併したこともあり、その他の事業全体として、売上高は944百万円(対前年同期比14.0%減)、70百万円の営業損失(前年同期は20百万円の営業損失)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における資産合計は36,532百万円で、前連結会計年度末と比べ617百万円(1.7%)の減少となりました。これは、現金及び預金が1,010百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は9,772百万円で、前連結会計年度末と比べ466百万円(5.0%)の増加となりました。これは、支払手形及び買掛金が740百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は26,760百万円で、前連結会計年度末と比べ1,084百万円(3.9%)の減少となりました。これは、利益剰余金が531百万円減少したこと等によるものであります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,652,216	6,641,852
受取手形、売掛金及び契約資産	4,167,885	4,221,626
有価証券	2,500,000	2,925,067
商品	22,472	28,000
原材料及び貯蔵品	187,247	193,495
未成工事支出金	43,453	141,834
その他	259,516	427,408
貸倒引当金	△3,675	△4,544
流動資産合計	14,829,116	14,574,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,005,623	21,774,098
減価償却累計額	△16,717,340	△16,827,538
建物及び構築物(純額)	4,288,282	4,946,559
車両運搬具	26,202,109	25,939,850
減価償却累計額	△24,120,770	△24,179,438
車両運搬具(純額)	2,081,338	1,760,411
土地	9,772,983	9,763,818
その他	5,754,403	5,270,040
減価償却累計額	△4,332,340	△4,400,063
その他(純額)	1,422,062	869,977
有形固定資産合計	17,564,667	17,340,767
無形固定資産	154,255	138,932
投資その他の資産		
投資有価証券	4,197,401	4,095,154
その他	411,445	389,626
貸倒引当金	△6,408	△6,419
投資その他の資産合計	4,602,438	4,478,362
固定資産合計	22,321,361	21,958,062
資産合計	37,150,477	36,532,803

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,917,923	2,658,607
未払法人税等	277,530	172,066
賞与引当金	230,655	337,141
その他の引当金	5,214	2,460
その他	2,700,966	2,614,248
流動負債合計	5,132,290	5,784,525
固定負債		
退職給付に係る負債	2,494,919	2,458,703
役員退職慰労引当金	349,491	330,925
その他	1,329,124	1,198,642
固定負債合計	4,173,534	3,988,271
負債合計	9,305,824	9,772,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	759,341	759,341
利益剰余金	24,982,525	24,451,452
自己株式	△1,219,934	△1,220,226
株主資本合計	26,621,933	26,090,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	851,710	583,838
退職給付に係る調整累計額	△103,058	△71,093
その他の包括利益累計額合計	748,652	512,744
非支配株主持分	474,067	156,694
純資産合計	27,844,652	26,760,006
負債純資産合計	37,150,477	36,532,803

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	15,404,488	15,901,071
売上原価	14,416,114	14,751,861
売上総利益	988,374	1,149,209
販売費及び一般管理費	1,460,924	1,583,133
営業損失(△)	△472,549	△433,924
営業外収益		
受取配当金	56,289	51,487
持分法による投資利益	22,345	93,151
その他	89,397	44,184
営業外収益合計	168,032	188,823
営業外費用		
支払手数料	1,365	1,370
その他	132	102
営業外費用合計	1,497	1,472
経常損失(△)	△306,015	△246,573
特別利益		
固定資産売却益	44,448	3,114
その他	9,171	295
特別利益合計	53,619	3,409
特別損失		
固定資産除売却損	47,983	33,844
投資有価証券評価損	—	9,999
その他	1,023	2,732
特別損失合計	49,006	46,577
税金等調整前中間純損失(△)	△301,402	△289,740
法人税、住民税及び事業税	102,162	136,798
法人税等調整額	165,836	△31,058
法人税等合計	267,998	105,740
中間純損失(△)	△569,401	△395,481
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△16,836	△5,357
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△552,565	△390,123

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△569,401	△395,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	225,397	△235,915
退職給付に係る調整額	15,497	31,964
持分法適用会社に対する持分相当額	25,545	△32,306
その他の包括利益合計	266,440	△236,257
中間包括利益	△302,960	△631,738
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△286,415	△626,031
非支配株主に係る中間包括利益	△16,545	△5,707

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

連結子会社であった中央バスビジネスサービス(株)を、当社が2024年4月1日付で吸収合併したことに伴い、当中間連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる、中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる、前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	8,356,121	4,400,229	991,138	220,116	730,227	706,656	15,404,488	—	15,404,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	54,126	472,631	648,377	166,938	3,035	392,143	1,737,253	△1,737,253	—
計	8,410,247	4,872,860	1,639,515	387,055	733,262	1,098,800	17,141,741	△1,737,253	15,404,488
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△472,551	82,153	108,041	138,386	△285,815	△20,136	△449,922	△22,627	△472,549

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	8,218,169	5,014,472	972,316	227,604	782,699	685,809	15,901,071	—	15,901,071
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49,336	236,009	696,749	174,072	3,493	258,873	1,418,535	△1,418,535	—
計	8,267,506	5,250,481	1,669,065	401,677	786,193	944,682	17,319,606	△1,418,535	15,901,071
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△396,437	126,418	110,570	122,703	△301,011	△70,328	△408,085	△25,838	△433,924

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。